

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる。

【学校 目標】

○「読み解く力」の理解・再構築に重点を置いた、授業の創造

【現状と課題】

- 視点1 学習の積み上げ、読解力等に課題がある児童がいる。
- 視点2 主体的に友達のよい意見を取り入れて考えを深めたり、自信をもって考えを伝えたりする自信をもていない児童がいる。
- 視点3 教師の授業スキルや児童の実態を把握する力の向上が必要である。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対する達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①「読み解く力」の理解・再構築に焦点を当てた授業づくりを行うため、学習のゴールをイメージした指導や手立てを行う。	①子どもがつける学習アンケート(肯定的評価 85%)		
	①教員の自己評価(肯定的評価 70%)		
	①保護者アンケート(肯定的評価 85%)		
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①自分の考えと人の意見を比較しながら聴いたり、考えを的確に伝えたりする力をつける。	①子どもがつける学習アンケート(肯定的評価 85%)		
	①教員の自己評価(肯定的評価 70%)		
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内研究担当やOJT担当を中心に、授業の活性化、指導力の向上をはかる。	①校内研究会(年8回)、OJT研修会(年16回程度)実施		
	①教員の自己評価(肯定的評価 70%)		
	①保護者アンケート(肯定的評価 85%)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・研究授業前の指導案検討や教材研修会(OJT研修)を6月・9月・11月に行う。→年3回以上
- ・研究授業(6・9・11月)と公開授業(6・1月)後に全職員で研究会を行う。→年6回
- ・4月の校内研究全体会では、本校の課題や児童につけたい力等を協議し、2月の校内研究全体会では、一年間の取り組みと課題・成果について全職員で話し合っ次年度につなげていく。
- ・適宜、学力向上部会やOJT研修会(年16回程度)を開催し、学級や家庭の実態を検証しながら改善策を考え、実践につなげていく。

今年度の取組の成果と課題